

元プロ野球選手の高橋慶彦氏が本市の応援大使に



市では、昨年、本市出身やゆかりのある各界で活躍されている方に対し、「星の降る里あしべつ応援大使」として委嘱し、本市のまちづくりに協力いただくこととしました。

このほどその第1号として、本市出身の元プロ野球選手である高橋慶彦氏へ委嘱することとし、4月11日、市長が東京都内にある日本プロ野球

OBクラブ事務局を訪れ、高橋氏に委嘱状を手渡しました＝写真＝。

高橋氏には、毎年8月開催の「日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプ」での講師を継続的にお願いするほか、まちづくりへのアドバイスや観光PRなど、地域の活性化に向けた取り組みにご協力いただくこととしています。

人間性も兼ね備えた技術者目指して、北日本自動車大学校に19人入学

専門学校北日本自動車大学校の入学式が4月4日、同校で行われました。

今年の入学生は、4年制の1級整備士コースに1人、2年制の2級整備士コースに18人の合わせて19人。

新入生を前に、齋木修二校長は、「日々進歩している自動車整備の

技術を習得するのはもちろんのこと、人間性をも養い、厳しい中にも楽しく有意義な学生生活を送ってほしい」と式辞を述べました。

これに対し、新入生を代表して松田陸人さん（芦別高校出身）が「学業に励み、所期の目的を達成するため努力します」と宣誓しました。



芦別観光協会が一般社団法人となり、事務所を百年記念館内に移転



芦別観光協会は、4月2日から一般社団法人として組織が新しくなり、これまで市役所内にあった事務所は、同日から星の降る里百年記念館内の一角に移転し、業務を始めています。

法人化により、新たな事業への取り組みが期待されますが、当面は、

芦別健夏まつりの開催やふるさと納税の受け付けと返礼品発送など、市からの受託事業が中心になります。

初代会長には、坂田憲正氏（芦別商工会議所会頭）が就任。事務局スタッフは当面3人で、年末年始を除いて通年営業、時間は午前9時から午後5時30分までとなっています。

「市長と語る まちづくり懇談会」を市内8か所で開催

「市長と語る まちづくり懇談会」を、4月16日の野花南町を皮切りに、27日まで市内8か所で開催しました。

これは、市政について市民の皆さんと情報共有を図るとともに、市長と忌憚のない意見を交わしていただき、さまざまな対話の中から今後の市政運営の参考にしてい

こうと開催したものです。

懇談会では、市側が今年度の市の主な施策や行財政改革の取り組みなどを説明。特に、大きな取り組みとなっている、林業大学校の誘致や芦別駅前再整備事業、市立芦別病院の診療体制などについて重点的に説明しました。

